

膜性腎症を合併する抗好中球細胞質ミエロペルオキシダーゼ抗体関連糸球体腎炎の病理組織学的特徴の比較・検討 研究協力をお願い

解析人体病理学では「膜性腎症を合併する抗好中球細胞質ミエロペルオキシダーゼ抗体関連糸球体腎炎の病理組織学的特徴の比較・検討」という研究を日本医科大学中央倫理委員会の承認及び研究機関の長：弦間昭彦の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。研究目的や研究方法は以下のとおりです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施します。

皆様方には研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力をお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問等は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

1. 研究の対象

2011年1月1日から2023年1月6日までに防衛医科大学校病院の腎臓内科で膜性腎症を合併する抗好中球細胞質ミエロペルオキシダーゼ抗体（MPO-ANCA）関連糸球体腎炎、MPO-ANCA 関連糸球体腎炎、膜性腎症と診断を受けられた患者さん。

2. 研究の目的

膜性腎症を合併する MPO-ANCA 関連糸球体腎炎 7例、MPO-ANCA 関連糸球体腎炎 6例、膜性腎症 5例のホルマリン固定パラフィン包埋組織検体を用いて、それぞれを比較・検討することにより、膜性腎症を合併する MPO-ANCA 関連糸球体腎炎の発症・進展機序を明らかにします。

3. 研究の方法

日本医科大学解析人体病理学を研究代表機関とする多機関共同研究で、研究代表者は日本医科大学 解析人体病理学 清水章、研究事務局は日本医科大学 解析人体病理学 清水章です。他の参加研究機関は防衛医科大学校病院（研究責任者：大島 直紀）です。

2011年1月1日から2023年1月6日までに防衛医科大学校病院（病院長：塩谷彰浩）の腎臓内科にて、膜性腎症を合併する MPO-ANCA 関連糸球体腎炎、MPO-ANCA 関連糸球体腎炎、膜性腎症と診断を受けられた患者さんの腎生検検体に対し、光学顕微鏡、免疫蛍光染色、質量分析などを用いて得られたデータと、カルテ情報から得られた臨床データとをあわせて検討します。

研究実施期間は実施許可日から2024年3月31日までです。

本研究は、外部機関との利益相反はありません。

4. 研究に用いる試料・情報

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：診断目的で採取された腎臓などの生検病理組織

情報：年齢、性別、既往歴、家族歴、腎機能、尿・血液検査項目、臨床症状 等

試料・情報の提供を行う機関：防衛医科大学校病院（院長：塩谷彰浩）

試料・情報の取得の方法：研究目的でない診療の過程で取得

この研究に関するデータは、容易に個人を特定できないように記号化した番号により管理され、防衛医科大学校病院の施錠可能な部屋にあり、インターネットに接続されていないパスワードのかかったパーソナルコンピュータに保管します。

防衛医科大学校病院で得られた試料・情報は日本医科大学に郵送されます。日本医科大学に送付された試料・情報は、日本医科大学解析人体病理学の清水章が、施錠可能な部屋にあり、医局のインターネットに接続されていないパスワードのかかった PC に保管し、あなたの個人情報を個人が特定できる形で使用することはありません。

また、患者さんから、研究を継続されることについて同意の撤回がなされた場合は、個人情報は速やかに廃棄いたします。また、研究結果の報告、発表に関しては個人を特定される形では公表しません。

5. 問い合わせ先窓口

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の患者さんの個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。

また、試料・情報が研究に用いられることについて、患者さんまたは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

防衛医科大学校病院 腎臓内分泌内科 教授 大島 直紀
〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-26 号館（基礎研究棟）4 階
電話番号：04-2995-1211（代表） 内線：2971
メールアドレス：cln230@ndmc.ac.jp